



まるとと博物館を 歩く(12)

一年にわたって連載してきました「まるとと博物館を歩く」も、今回で最終回となりました。各地区を足早に回ってきましたが、まだここでは紹介できないほどの文化財や歴史的な遺産が市内には残されています。みなさんも散歩をしながら、新しい発見をしてみてください。

現在、教育委員会ではこのような散策の参考になるようなウォーキングマップの作成を進めています。また、今春開館の博物館もこの構想を中心に、いくつかの事業を開催する予定です。興味のある方は、是非ご参加ください。

さて、今月は、開館に向けて々と準備が進む、博物館について少し説明をしようと思います。

① エントランスホール

コンピュータを設置し、「まるとと博物館」を紹介します。ムササビ君が操作の仕方を教えてくれるなど、大人から子どもまで楽しめるように作られています。また、コミュニケーションボードの設置も行い、みなさんの手による情報交換も行えるようになっていきます。気軽に立ち寄りみてください。

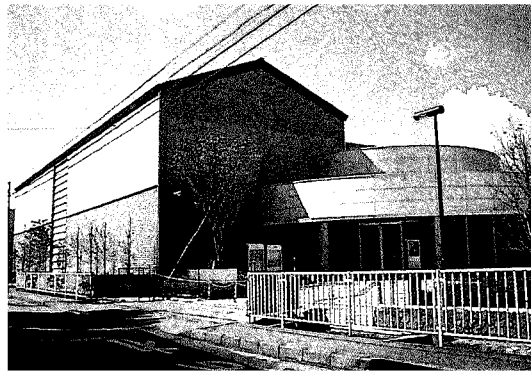
② 研修室

現在組織されている博物館ボランティアや、予定されている事業などの参加者の会議などに使用します。また、壁面にはピクチャー

レールが設置されていますので、市民ギャラリーのような使い方もできます。

③ 図書情報室

各市町村の歴史資料や、古書・文書などの閲覧ができるようになっていきます。また、ここにもコンピュータが設置され、CD-ROMなど閲覧できるようにしていきます。これらに加え、谷村に滞在したことのある松尾芭蕉に関する資料を中心に収集を進めています。



4月にオープン！「ミュージアム都留」

④ 第一展示室

本館のメインとも言える展示室です。まず、入り口には本市の誇る貴重な文化財である屋台飾幕が展示されます。反対側の壁には古代から市制施行までの歴史を写真年表で展示します。また、ここには実物資料も展示をする予定です。通路のつきあたりには「コンピュータを使用した「つる歴史質問箱」というコーナーがあり、パネルで

は説明できなかった内容を検索できるようにになっています。

そして、展示室の中心には飾幕を装飾した屋台が置かれ、まるで昔の谷村に迷い込んだような様子で展示を行います。かつての八朔祭の行列の復元や、未公開の飾幕の説明などが展示されます。

また、城下町であった歴史のパネルを周りに配し、「芭蕉劇場」という電動紙芝居や、江戸時代中期に谷村を代表する織柄であった「郡内縞物語」という映像も放映します。

そして、このメインは大画面の映像になります。葛飾北斎が下絵を描いた飾幕「虎」から虎が抜け出て、歴史を映像で紹介するというものです。映像の画面にあわせ、展示室全体が反応し、盛り上げる構造になっています。是非、ご覧ください。

⑤ 第二展示室

ここは企画展や特別展を行います。いままでの博物館の概念にとらわれないものを展開していかうと考えています。例えば、市民の企画による特別展や、絵画の展示なども考えています。

こういった構成内容で、だれにでも楽しめて、だれにでも学べる博物館を目指しています。また、興味があれば、企画にも携わることのできる新しいタイプの博物館です。皆さんのご協力をお願いします。

問合先

生涯学習課 文化振興担当

ネイチャーセンター ガイド(13)

●ネイチャーセンターでは…

特設コーナーがオープンしています。何ができるんだろう？テーマ「木で作る」です。竹トンボ、竹馬、竹笛、けん玉、弓矢、凧、巣箱、コマなどです。材料は山からとってきます。そして、最後まで自分で作ってもらいます。困ったときには助け船がやってくるよ。

●フィールドでは…

夕暮れ時になると、センターのまわりを歩く奴がいる。木のぼりが得意なテンです。毛の色が黄色で、雪で濡れたテンの体に光をあてるとキラキラ光ります。

また、テンのフンがたくさん落ちています。フンコロジーしてみませんか？

層のうえではすでに春ですが、先月は朝晩、冷え込む日が続きました。そんな寒さの厳しい中、冬の芸術「氷」に代表される霜柱を観察することができました。なんで、地面が持ち上がるんだろう？なぜだろう！

みなさんは四季の移り変わりの知らせをどんな風に感じていますか。わたしは「におい」で感じています。わたしにとっての「春のにおい」は「ほんわり感」があります。さぁ！春を感じてみよう。

●飛びかう野鳥たち…

シジュウカラ、ヤマガラ、エナガが群れる「カラの混群」を間近で観察することができます。アカゲラが木をつつき、カワラヒワが群をなし、ルリビタキが、ホオジロが、ヒヨドリが、ウソがそれぞれ厳しい冬をのりきろうとしています。中には、飢えのために命をおとす野鳥もいます。



ヤマガラの採餌

ぼーっと立って待っているだけで、目の前に野鳥をみることができるのは3月までかな…。

連絡・問合先

都留いきものふれあいの里
ネイチャーセンター ☎(45)6222